

小平市地域エネルギービジョン中間見直し 進捗状況報告 (令和元年度実績)



学園東町地域センター

令和2年9月

小平市

めざす環境像

循環・調和・協働の「わ」を大切に みんなで気持ちよく暮らせるまち こだいら

基本理念

緑の豊かさを基調としながら、次世代の子どもたちへつなぐ低炭素社会づくり

基本方針

①限りある資源を大切に使う

②緑化と調和したエネルギー
| 負荷の少ない都市づくり

③環境マインド・アクション
| の高い人づくり (人と人をつなぐ)

【重点プロジェクト】

- ①市民版環境配慮指針の普及拡大（環境家計簿の推進）
- ②緑のカーテンによる省エネ及び緑の創出
- ③公立学校給食や市民への地産地消の推進
- ④バイオマスの利用による発電や熱利用及び堆肥化
- ⑤公共施設への太陽光発電システムの導入
- ⑥市民・事業者に対する新エネルギー機器設置費助成
- ⑦市民植樹事業の普及拡大
- ⑧ノーカーデーの実施
- ⑨低公害車・低燃費車への買い替え
- ⑩環境学習（講座、講演会等）の充実

【その他の取組】

- 1. 環境共生住宅の普及
- 2. 省エネ診断・省エネ研修会の普及
- 3. 室内の温度設定の徹底
- 4. 省エネ診断及びESCO事業の導入
- 5. フィフティ・フィフティ制度の導入
- 6. 市民出資型による太陽光発電システム設置の検討
- 7. 市民参加による森林の整備
- 8. 保存樹林などの公有地化の検討
- 9. 公共施設駐車場の有料化による自動車利用抑制の検討
- 10. エコドライブの普及啓発
- 11. エコポイント制度の検討
- 12. 家電製品などの省エネルギー機器の普及拡大
- 13. グリーン電力証書制度の活用
- 14. ホームページや省エネカレンダー等による情報の発信
- 15. 環境配慮事業者連絡会の充実
- 16. 大学との連携による普及啓発

1 小平市のエネルギー消費量及び二酸化炭素排出量

最新の集計結果である、平成 29 (2017) 年度のエネルギー消費量は 5,773 テラジュールで、基準年度である平成 17 (2005) 年度のエネルギー消費量 8,727 テラジュールから約 33.8%減少しました。

また、平成 29 (2017) 年度の二酸化炭素排出量は 522,278t-CO₂ で、基準年度である平成 17 (2005) 年度の二酸化炭素排出量 656,381t-CO₂ から約 20.4%減少しました。

表 1 小平市のエネルギー消費量及び二酸化炭素排出量の基準年度との比較

年度	エネルギー消費量(TJ)(※1)	二酸化炭素排出量(t-CO ₂)
平成17年度実績	8,727	656,381(※2)
平成29年度実績	5,773	522,279(※3)
29-17	△2,954	△134,102
増減率	△33.8%	△20.4%

(※1) T(テラ)：10 の 12 乗、J(ジュール)：熱量単位、1TJ=1×10¹²J

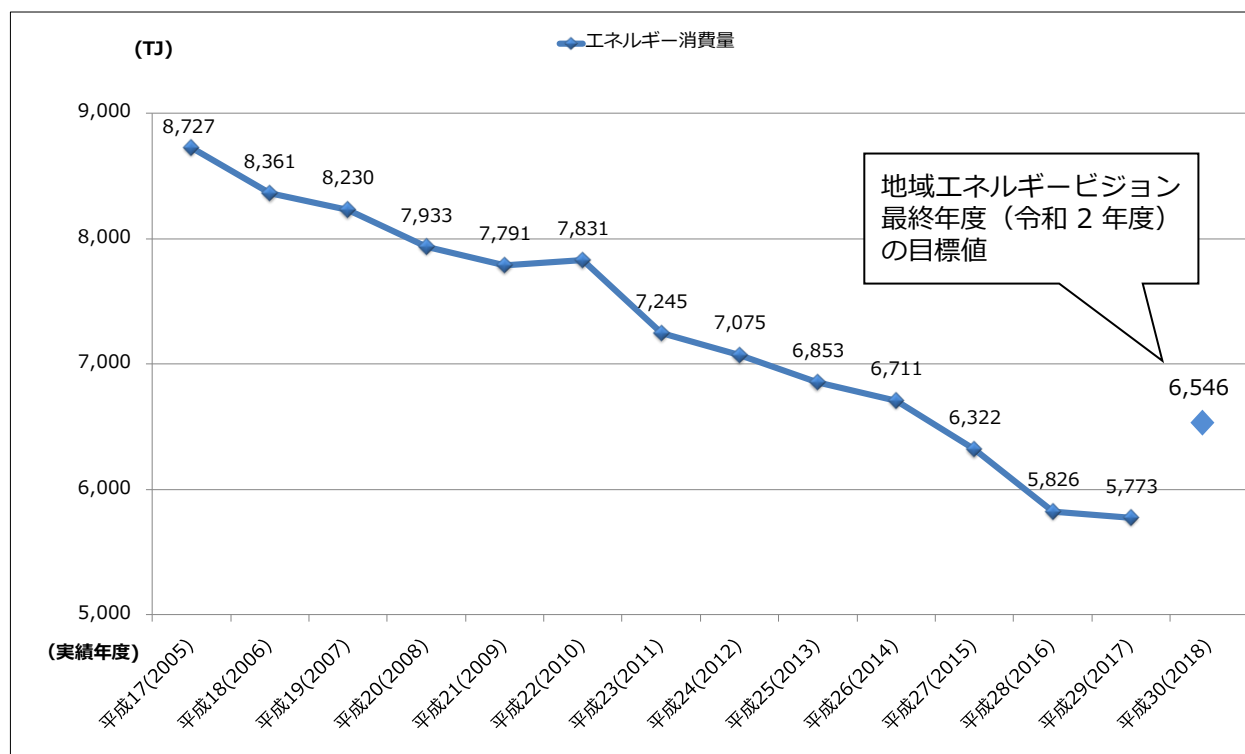
(※2)電気の二酸化炭素排出係数：0.374kg-CO₂/kWh

(※3)電気の二酸化炭素排出係数：0.471kg-CO₂/kWh

(出典：オール東京 62 市区町村共同事業資料)

2 小平市のエネルギー消費量の推移と目標数値

エネルギー消費量は、基準年度である平成 17 (2005) 年度以降、平成 22 (2010) 年度に前年度を上回ったものの、着実に減少傾向にあります。目標は、地域エネルギービジョンの最終年度である令和 2 (2020) 年度までに、平成 17 (2005) 年度比で 25%以上削減することとしており、最新の集計結果 (平成 29 (2017) 年度実績) では目標を達成することができました。今後も継続してエネルギー消費量の削減を呼び掛けていきます。

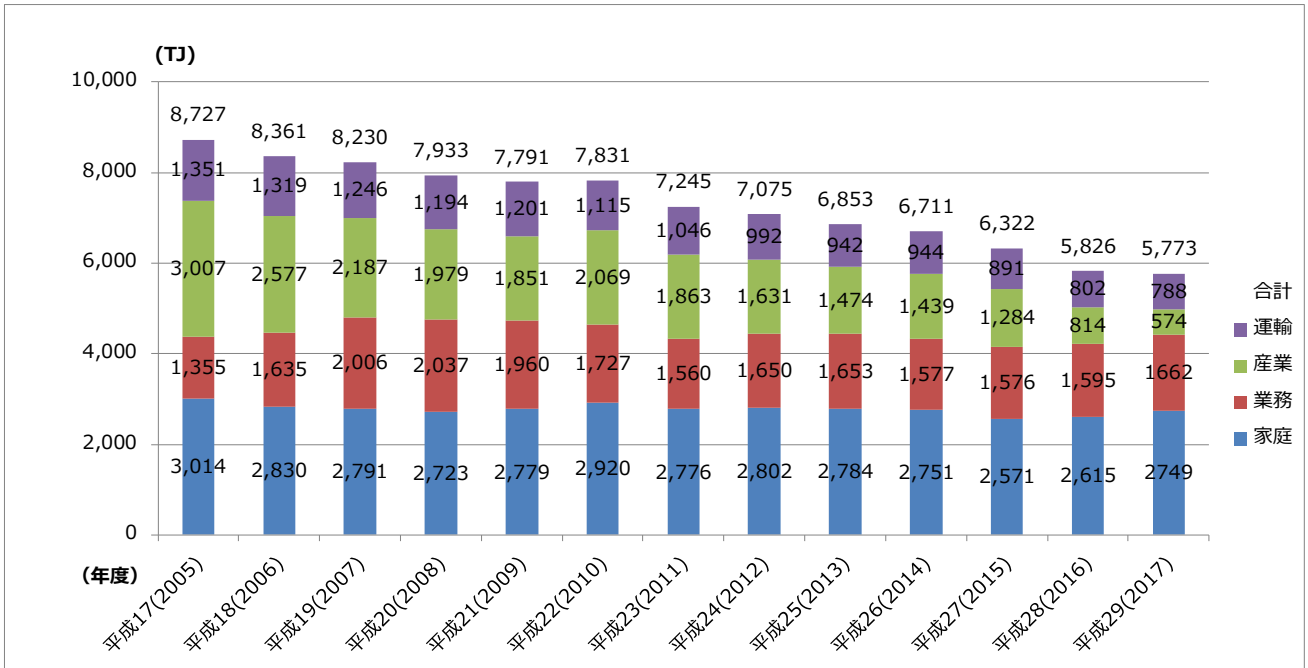


(出典：オール東京 62 市区町村共同事業資料)

図 1 小平市のエネルギー消費量の推移と目標値

3 部門別エネルギー消費量の推移

平成 29 (2017) 年度の部門別エネルギー消費量は、前年度と比較すると運輸、産業部門は減少し、業務、家庭部門は増加しました。

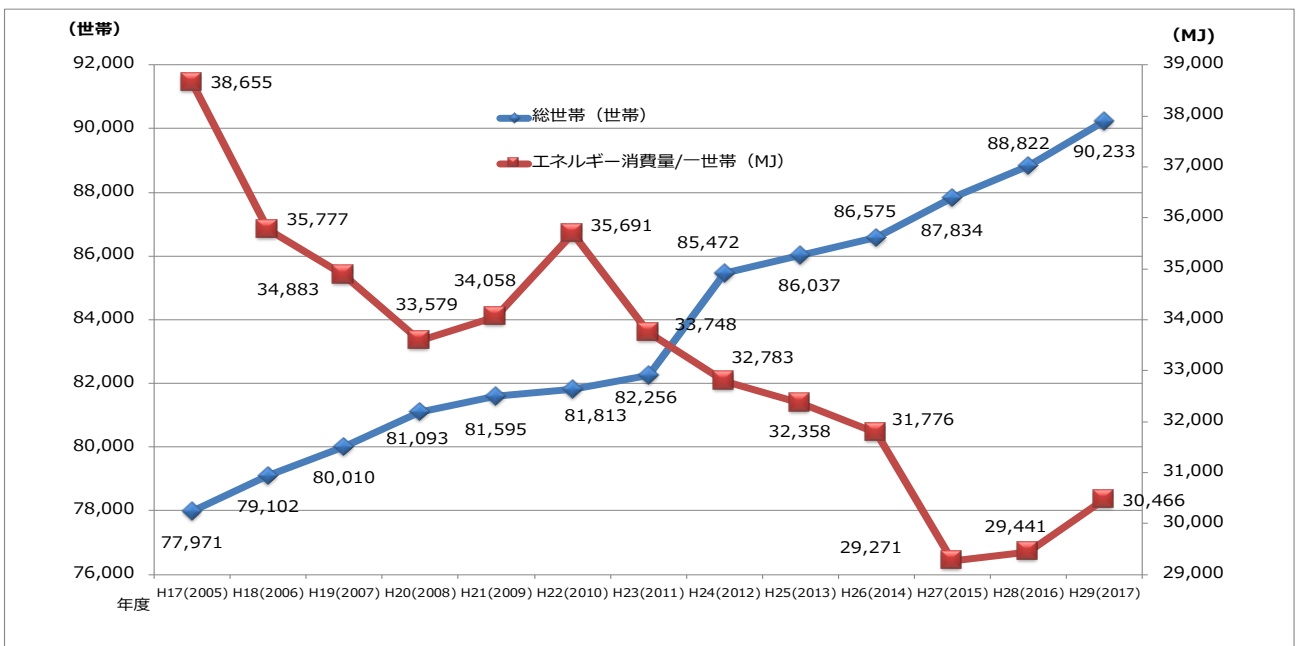


(出典：オール東京 62 市区町村共同事業資料)

図 2 小平市の部門別エネルギー消費量の推移

4 一世帯当たりのエネルギー消費量の推移

平成 29 (2017) 年度の総世帯数は前年度より増加しました。一世帯当たりのエネルギー消費量は前年度から約 3.5%増加しました。



※一世帯当たりのエネルギー消費量は、部門別エネルギー消費量（家庭部門）を総世帯数で除した値
 ※総世帯数は各年度の 10 月 1 日現在の住民基本台帳上の数値を引用

図 3 小平市の一世帯当たりのエネルギー消費量の推移

5 重点プロジェクトの令和元年度実績に対する評価

重点プロジェクトの令和元年度実績に対し、「A：予定より進んでいる」、「B：予定通り進んでいる」、「C：予定より遅れている」の3段階で評価しました。評価の結果は表2のとおりです。

表2 重点プロジェクトの進捗状況に対する評価

プロジェクト名	成果指標	R1 目標値	R1 実績値	実績/目標	評価
①市民版環境配慮指針の普及拡大	WEB・アプリ版環境家計簿の参加世帯（事業所）数	843 件	2,010 件	238.4%	A
②緑のカーテンによる省エネ及び緑の創出	公共施設における緑のカーテン設置数	60 施設	71 施設	118.3%	A
③公立学校給食や市民への地産地消の推進	小学校給食における地場産農産物の納入率	24.5%	31.4%	128.2%	A
④バイオマスの利用による発電や熱利用及び堆肥化	食物資源循環事業における参加世帯数	1,000 世帯	1,000 世帯	100.0%	B
⑤公共施設への太陽光発電システムの導入	公共施設への太陽光発電システム設置数	45 施設	38 施設	84.4%	C
⑥市民・事業者に対する新エネルギー機器設置費助成	市民・事業者への太陽光発電システム助成件数	1,687 件	1,275 件	75.6%	C
⑦市民植樹事業の普及拡大	苗木の配布数	1,100 本	1,000 本	90.9%	C
⑧ノーカーデーの実施	冬期自動車使用抑制期間中のノーカーデーにおける庁用車使用回数	680 回 (以下)	658 回	96.8%	B
⑨低公害車・低燃費車への買い替え	庁用車の低公害車・低燃費車の導入率	93.5%	89.9%	96.1%	B
⑩環境学習（講座、講演会等）の充実	環境学習（講座、講演会等）の参加者数	1,100 名	1,317 名	119.7%	A

※重点プロジェクト①③⑤⑥⑨の令和元年度目標値は、令和2年度までに達成すべき目標値から割り返して算出しています。

令和元年度目標値に対し、5%を上回る実績となった取組をA、±5%以内の実績となった取組をB、5%を下回る実績となった取組をCと評価しています。

6 小平市環境審議会の意見等

令和2年8月3日（月）に開催された環境審議会において、次のようなご意見等をいただきました。

- ・公共施設への太陽光発電システムの導入について、令和元年度は1施設も導入できなかったようだが、理由を記述しておけば見返した時の参考になる。→8ページの重点プロジェクト5「公共施設への太陽光発電システムの導入」の具体的な内容の記述の中で、説明を補足しました。
- ・公共施設にLEDを何台設置したという列挙の内容はまとめた方がよい。また、CO₂削減効果の推計値や省エネ診断等の検討状況についても記載した方がよい。→14ページのその他の取組4「省エネ診断及びESCO事業の導入」の具体的な内容の記述の中で、設置状況をまとめるとともに、CO₂削減効果の推計値や省エネ診断等の検討状況の説明を補足しました。
- ・新型コロナウイルスの感染状況の関係で、公共施設や学校などで空調設備を使いつつ、換気をずっと行っている。令和2年度以降も省エネに取り組むとのことだが、小平市としてエネルギー消費量の予測はあるか。→エネルギー消費量は増加傾向と考えており、引き続き、省エネの取組を推進します。
- ・計画改定作業では、これまでの振り返りにより現状分析と課題の把握が重要である。それにつながる様な記述を年度評価の中に蓄積して、計画改定の時に生かしてほしい。

重点プロジェクト 1 市民版環境配慮指針の普及拡大（環境家計簿の推進）

■取組の概要

家庭や職場での日々の省エネ行動が、地球温暖化対策の大きな一歩となります。また、省エネに取り組むことは、地球温暖化対策に貢献するだけでなく、光熱水費等の節約にもつながります。

みんなで無理なく小平流エコライフを楽しんで実践していくため、市民版環境配慮指針の普及を進めるとともに、WEB・アプリ版の小平市環境家計簿の参加者を増やします。

■令和元年度の主な取組

具体的な内容						担当課
環境家計簿参加者による令和元年度のCO ₂ 排出量(電気・ガス)は330,763kg-CO ₂ で、前年度から332,639kg-CO ₂ の減となりました。						環境政策課
	参加件数	令和元年度 CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	前年度 CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	前年度からの CO ₂ 増減量 (kg-CO ₂)	前年度からの CO ₂ 増減率 (%)	
家庭	1,999件	329,314	633,928	-304,614	-48.1	
事業所	11件	1,449	29,474	-28,025	-95.1	
合計	2,010件	330,763	663,402	-332,639	-50.1	
<p>令和元年7～12月の6ヵ月を「チャレンジ省エネ2019 in こだいら」期間として設定し、電気・ガスの使用によるCO₂排出量を前年同月期間より削減することを目標に、環境家計簿参加者に省エネに取り組んでいただきました。40世帯が目標を達成し、4.6t-CO₂を削減することができました（表彰状と省エネグッズを1世帯に進呈）。</p> <p>本取組は、「東京2020大会における市民によるCO₂削減・吸収活動」に登録しており、東京2020大会組織委員会に活動成果を報告しました。</p> <p>また、環境家計簿内で令和元年中に、エコダイラポイントを200ポイント獲得を目指して取組んでいただき、18名の方が達成しました（達成賞と省エネグッズを4名に進呈）。</p>						環境政策課

■目標値

WEB版環境家計簿の 参加世帯（事業所）数
令和2年度
922件

■実績及び評価

年度	平成30年度	令和元年度	評価
実績値	1,732件	2,010件	
進捗率	187.9%	218.0%	

■今後の方向性等

環境家計簿をはじめとする市民版環境配慮指針の普及啓発は、エコダイラネットワークと市が協働して進めており、この取組が評価され、「令和元年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰」を受賞しました。今後も、こだいら環境フェスティバルをはじめとする各イベントや環境学習講座等の機会を捉え、市民版環境配慮指針の普及啓発に努め、家庭生活や事業活動におけるエネルギー消費量の削減を推進します。

重点プロジェクト 2 緑のカーテンによる省エネ及び緑の創出

■取組の概要

建物の窓や壁につる性植物（ゴーヤ、アサガオなど）を植栽すると緑のカーテンとなり、夏の日差しをやわらげてくれるだけではなく、室温の上昇を抑える効果もあり、省エネにも貢献します。また、街の身近な緑の創出にもつながります。この緑のカーテンを市全体で取り組んでいくため、公共施設に率先して設置する他、緑のカーテン講習会の開催や緑のカーテン用の種や苗の配布などにより、市民・事業者にも取組を普及啓発します。

■令和元年度の主な取組

具体的な内容	担当課
<p>市の公共施設 71 施設で緑のカーテンを設置し、夏の省エネに取り組みました。</p> <p>実施施設 庁舎、鈴木地域センター、大沼地域センター、花小金井北地域センター、小川東第二地域センター、小川町二丁目地域センター、子ども家庭支援センター、学童クラブ 4 か所、花小金井南児童館、小川町二丁目児童館、小川町一丁目児童館、大沼保育園、喜平保育園、津田保育園、小川保育園、小川西保育園、仲町保育園、花小金井保育園、上宿保育園、上水南保育園、健康福祉事務センター、ふれあい下水道館、建設事業所、市営自転車駐車場 17 か所、小学校 12 校、中学校 5 校、公民館 8 館、中央図書館、東部市民センター、喜平図書館</p>	<p>総務課、市民協働・男女参画推進課、子育て支援課、保育課、生活支援課、下水道課、道路課、交通対策課、教育総務課、公民館、図書館</p>
<p>平成 31 年 4 月 25 日にリサイクルセンターで、市民の皆様を対象とした「緑のカーテン講習会」を開催し、ゴーヤの種を配布しました（参加者 31 名）。5 月 9 日には、環境家計簿への登録を条件に、緑のカーテン用の苗（ゴーヤ、キュウリ）及び堆肥を配布しました（配布人数 60 名）。</p> <p>また、市庁舎 1 階で、4 月 15 日から 4 月 22 日の間に緑のカーテンの普及啓発を行い、提供いただいた写真をもとに、9 月 9 日から 13 日の間に「緑のカーテン写真展」を行いました。</p>	<p>環境政策課</p>

■目標値

公共施設における 緑のカーテン設置数
毎年
60 施設

■実績及び評価

年度	平成 30 年度	令和元年度	評価
実績値	69 施設	71 施設	
達成率	115.0%	118.3%	

■今後の方向性等

市の公共施設では、目標としている 60 施設以上で緑のカーテンの設置に取り組み、施設の緑の創出及び夏の省エネを図ります。また、緑のカーテン用の苗の配布や講座の開催等により、市民・事業者の皆様にも普及啓発します。

重点プロジェクト 3 公立学校給食や市民への地産地消の推進

■取組の概要

地産地消の取組は、食物の生産地と消費地が近いということで輸送に係るエネルギーが少なく済むため、地球温暖化防止につながる取組です。

市立の保育園や小中学校の給食では小平産の農産物の利用を進め、地場野菜を利用することが環境にもやさしいことを学び、食育を通じた環境教育を推進します。

■令和元年度の主な取組

具体的な内容	担当課
学校給食での小平産の農産物の利用をさらに進めました。	産業振興課
全小学校（19校）で学童農園を実施しました。	産業振興課

■目標値

小学校給食における 地場産農産物の納入率
令和2年度
25%以上

■実績及び評価

年度	平成30年度	令和元年度	評価
実績値	29.3%	31.4%	
進捗率	117.2%	125.6%	

■今後の方向性等

小学校給食における地場産農産物の納入を進め、さらなる納入率の向上を目指します。

重点プロジェクト 4 バイオマスの利用による発電や熱利用及び堆肥化

■取組の概要

小平市一般廃棄物処理基本計画では、「こつこつ小平『もったいない』が根づくまち」を基本理念として、循環型社会（天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される社会）への変革に向けて、3R（廃棄物の発生抑制、再使用及び再生利用）の推進等の施策を進めることとしています。

食物資源(生ごみ)や廃食用油などのリサイクルをはじめとする3Rの取組を進めることによって、資源の有効利用とごみ処理量の削減を図ります。

■令和元年度の主な取組

具体的な内容	担当課
食物資源循環事業を実施し、資源化した堆肥は82トンでした。資源化した堆肥を市内農家、小・中学校、市民の皆様が利用し、資源の循環を図りました。	資源循環課
年4回開催される「リサイクルきゃらばん」で、家庭用廃食油を回収し、バイオディーゼル燃料にリサイクルし、こだいら環境フェスティバルの発電機で利用しました。	資源循環課

■ 目標値

食物資源循環事業 における参加世帯数
毎年
1,000 世帯

■ 実績及び評価

年度	平成 30 年度	令和元年度	評価
実績値	1,000 世帯	1,000 世帯	
進捗率	100.0%	100.0%	

■ 今後の方向性等

食物資源循環事業の参加世帯規模を 1,200 世帯に拡大します。

市の推進担当課：環境政策課

重点プロジェクト 5 公共施設への太陽光発電システムの導入

■ 取組の概要

小平市は平らな地形である地域特性を活かし、自然の恵みである太陽エネルギーを最大限利用するため、市民・事業者・市民団体・市が一体となって「太陽光発電日本一プロジェクト」を進めています。

市の公共施設には計画的に太陽光発電システムを導入し、エネルギーの地産地消を推進するとともに、太陽光発電システムを普及する地域のシンボリックな役割を果たします。

■ 令和元年度の主な取組

具体的な内容						担当課	
八小児童クラブ第二・第三の新設設計において、太陽光発電システムの設計を実施しました。なお、既存施設への設置については、屋根改修の必要性や国・東京都の補助金の状況を踏まえ、令和元年度は実施していません。 令和元年度末の設置施設は累計 38 施設、総発電出力 473.8kW であり、また、令和元年度の総発電電力量は 547,313 kWh で、二酸化炭素を 204,695kg-CO ₂ (※)削減する効果がありました。 ※二酸化炭素排出係数を第二次エコダイヤル・オフィス計画の基準年度である平成 17 年度の 0.374kg-CO ₂ /kWh で計算しています。 【太陽光発電システム設置施設】						環境政策課、施設整備課	
設置年度	施設名	発電出力	設置年度	施設名	発電出力		
H13	花小金井南地域センター・児童館	4kW	H24	中央図書館	20kW		
H14	大沼保育園	4kW	H25	小平第四小学校	20kW		
H18	小川町二丁目地域センター・児童館	4kW		小平元気村おがわ東	16kW		
	東部市民センター	6kW	東部公園プール管理棟	8kW			
H21	市庁舎	10kW	H26	なかまちテラス	5kW		
	花小金井小学校	10kW		小平第七小学校	20kW		
H22	子どもキャンプ場トイレ	2kW	H27	小川西保育園	10kW		
	小平第九小学校	20kW		小川公民館	12kW		
	小平第十二小学校	20kW		上宿図書館	11kW		
	学園東小学校	20kW	H28	大沼地域センター	11kW		
	小平第一中学校	20kW		市民総合体育館	15kW		
	小平第二中学校	20kW		十小児童クラブ第三	10kW		
	健康センター	10kW		小平第二小学校	20kW		
	H24	小平第一小学校	20kW	H29	鈴木地域センター		11kW
		小平第十三小学校	20kW		天神地域センター		10kW
		花小金井南中学校	5kW		上宿小児童クラブ第二		4kW
小平市消防団第三分団詰所		1.8kW	小平第十小学校		4kW		
H24	小平第五小学校	10kW	H30	学園東町地域センター	5kW		
	小川町一丁目地域センター・児童館	30kW		リサイクルセンター	25kW		

■ 目標値

公共施設への 太陽光発電システム設置数
令和 2 年度
50 施設

■ 実績及び評価

年度	平成 30 年度	令和元年度	評価
実績値	38 施設	38 施設	
進捗率	76.0%	76.0%	

■ 今後の方向性等

令和 2 年度に、八小学童クラブ第二・第三の新設工事において、太陽光発電システムを設置します。

市の推進担当課：環境政策課

重点プロジェクト 6 市民・事業者に対する新エネルギー機器設置費助成

■ 取組の概要

市では、市民・事業者に対して、太陽光発電システム及びエネファーム（家庭用燃料電池）を設置する際の費用の一部を助成することによりその設置を推進し、業務部門・家庭部門でのエネルギー消費量の削減を図る取組を実施しています。

■ 令和元年度の主な取組

具体的な内容	担当課
太陽光発電システム 56 件、エネファーム（家庭用燃料電池）145 件に対し助成を実施しました。	環境政策課

■ 目標値

市民・事業者への 太陽光発電システム助成件数
令和 2 年度
1,845 件

■ 実績及び評価

年度	平成 30 年度	令和元年度	評価
実績値	1,219 件	1,275 件	
進捗率	66.1%	69.1%	

■ 今後の方向性等

目標値の成果指標は太陽光発電システムの助成件数ですが、太陽光発電システムとエネファーム（家庭用燃料電池）を合わせて設置対象者を増やすことで、市のエネルギー消費量の削減を図ります。なお、仮に太陽光発電システムの目標値で削減される CO₂ 排出量と令和元年度末の太陽光発電システム累計助成件数とエネファーム（家庭用燃料電池）累計助成件数の合計で削減される CO₂ 排出量を試算すると下表のようになります。

目標値	太陽光発電システム1,845件×1,895kg = 3,496,275kg-CO ₂
令和元年度末	太陽光発電システム1,275件×1,895kg = 2,416,125kg-CO ₂ エネファーム（家庭用燃料電池）1,013件×1,330kg = 1,347,290kg-CO ₂
合計	3,763,415kg-CO ₂ （目標値に対し、107.6%）

※太陽光発電システム設置による一般家庭の年間の CO₂ 削減量は、1kW 当たり 541.5 kg（JPEA 太陽光発電協会資料を参考）×3.5kW（一般家庭の平均出力）= 1,895 kg-CO₂

※エネファーム（家庭用燃料電池）による一般家庭の年間の CO₂ 削減量は 1,330 kg（FCA 燃料電池普及促進協会資料を参考）

重点プロジェクト7 市民植樹事業の普及拡大

■取組の概要

次世代を担う子どもたちに小平の緑を引き継ぐため、市内のあらゆる場所（公共施設、学校、公園などの空きスペース）に緑を創出します。

こだいらグリーンフェスティバル等のイベント時には、市民の皆様には苗木を配布し、自宅の庭などに植樹していただくことで緑の増加を図ります。

■令和元年度の主な取組

具体的な内容	担当課
こだいらグリーンフェスティバル運営委員会で実施している「どんぐりの里親制度」により、市内小学生、ガールスカウト及びボーイスカウトへ、コナラの苗を提供しました。	水と緑と公園課
令和元年5月12日に開催されたこだいらグリーンフェスティバルの会場内で、ツツジ200本、シャクナゲ100本、ガクアジサイ100本、シモツケ180本、ブルーベリー200本、オリーブ200本、計980本の苗木を配布し、後日、シモツケの苗木20本を小平市緑と花いっぱい運動の会を通じて市民に配布しました。	水と緑と公園課

■目標値

苗木の配布数
毎年
1,100本

■実績及び評価

年度	平成30年度	令和元年度	評価
実績値	1,000本	1,000本	
達成率	90.9%	90.9%	

■今後の方向性等

毎年目標値である1,100本の苗木を配布することで、身近な緑の創出に取り組みます。

重点プロジェクト8 ノーカーデーの実施

■取組の概要

低炭素社会の実現のために、自動車利用から二酸化炭素排出量の少ない公共交通機関への利用の転換を促進します。市では、「週に一度は乗らないデー」を合言葉に、年間を通して、原則毎週水曜日は、市の業務や職員の通勤時における自動車の使用を抑制するノーカーデーを実施するとともに、市民・事業者にも取組を普及啓発します。特に11月1日から1月31日の期間は、大気中の二酸化窒素の濃度が上昇することもあり、冬期自動車使用抑制期間を設定し、市報等により、広くノーカーデーの取組の啓発を行うとともに、市の業務等におけるノーカーデーの取組を強化します。

■ 令和元年度の主な取組

具体的な内容	担当課
令和元年 11 月 1 日から令和 2 年 1 月 31 日の間を「冬期自動車使用抑制キャンペーン」期間として設定し、市報、のぼり旗・ポスターの掲出、庁内放送等により、「週に一度は乗らないデー」および「エコドライブ」を普及啓発しました。	環境政策課

■ 目標値

冬期自動車使用抑制期間中のノーカーデーにおける庁用車使用回数
毎年
前年度比減

■ 実績及び評価

年度	平成 30 年度	令和元年度	評価
実績値	681 回	658 回	
達成状況	達成	達成	

■ 今後の方向性等

庁用車から率先して、「週に一度は乗らないデー」実施するとともに、市民・事業者の皆様にも普及啓発します。

市の推進担当課：総務課・環境政策課

重点プロジェクト 9 低公害車・低燃費車への買い替え

■ 取組の概要

すべての庁用車は、低公害車及び低燃費車に計画的に買い替えます。また、イベントなどを通して、市民・事業者への低公害車及び低燃費車への買い替えを普及啓発します。

■ 令和元年度の主な取組

具体的な内容	担当課
交換時期が到来した庁用車から低公害車への買い替え等を実施し、99 台中 89 台が低公害車となりました。このうち 6 台が電気自動車です。	総務課
令和元年 5 月 26 日に小平市役所立体駐車場で開催した「ごみゼロフリーマーケット」において、電気自動車を展示しました。令和元年 9 月 7 日に中央公園で開催した「こだいら環境フェスティバル」において、燃料電池自動車や電気自動車を展示し、低公害車・低燃費車について PR しました。	環境政策課

■ 目標値

庁用車の低公害車・低燃費車の導入率
令和 2 年度
97%

■ 実績及び評価

年度	平成 30 年度	令和元年度	評価
実績値	87.9%	89.9%	
進捗率	90.6%	92.7%	

■ 今後の方向性等

庁用車の低公害車・低燃費車の導入を進めるとともに、市民・事業者の皆様にも普及啓発します。

重点プロジェクト10 環境学習（講座、講演会等）の充実

■取組の概要

すべての人が、地球温暖化を自らの問題として捉え、環境に配慮した行動を実践することが何よりも重要です。そのために、市では、環境と私たちの暮らしとの関わりについて身をもって学ぶ機会を充実させます。

■令和元年度の主な取組

具体的な内容				担当課
合計 23 回の環境学習（講座、講演会等）を実施し、参加者総数は 1,317 名となりました。				環境政策課
実施日	内容	会場	参加者数	
4月25日	市民版環境配慮指針啓発支援講座「緑のカーテン講習会」	リサイクルセンター	31名	
5月9日	緑のカーテン用の苗の配布事業	中央公民館	60名	
5月12日	環境家計簿普及啓発（グリーンフェスティバル内）	中央公園	124名	
5月23日	生物多様性講座「小平に生息する生き物」	中央公民館	20名	
5月26日	「省エネクイズ」（ごみゼロフリーマーケット内）	小平市役所	191名	
5月26日	環境家計簿アプリ普及啓発（ごみゼロフリーマーケット内）	小平市役所	5名	
6月25日	講演会「気象キャスターに学ぶ、気候変動への適応」	中央公民館	71名	
7月23日	夏休み親子環境教室「エコを遊ぼう！発電体験と打ち水体験」	小平市役所	33名	
8月9日	自然観察会「夜の生き物ウォッチング」	中央公園	48名	
8月21日	環境学習講座「ガラスの地球を救え上映会」	リサイクルセンター	20名	
9月7日	間伐材を使ったコースター作り（環境フェスティバル内）	中央公園	103名	
9月7日	省エネクイズ（環境フェスティバル内）	中央公園	212名	
9月7日	打ち水体験（環境フェスティバル内）	中央公園	52名	
9月7日	エコドライブシミュレーター体験会（環境フェスティバル内）	中央公園	40名	
9月7日	害虫相談（環境フェスティバル内）	中央公園	17名	
10月2日	小平第六小学校出前授業	リサイクルセンター	105名	
11月8日	環境学習講座「谷戸沢処分場見学会」	谷戸沢処分場	35名	
11月22日	第1回犬のしつけ方教室	中央公民館	17名	
11月23日	環境学習講座「魔法のふろしき講座」	リサイクルセンター	34名	
12月6日	第2回犬のしつけ方教室	福祉会館前市民広場	21名	
12月13日	第3回犬のしつけ方教室	中央公民館	14名	
1月19日	市民版環境配慮指針啓発支援講座「ソーラーパネルと蓄電池の賢い選び方」	ふれあい下水道館	32名	
2月8日	環境学習講座「今さら本気の理科実験 ～二酸化炭素ってなんだ～」	花小金井小学校	32名	
			合計	1,317名

■目標値

環境学習（講座、講演会等）の参加者数
毎年
1,100名

■実績及び評価

年度	平成30年度	令和元年度	評価
実績値	1,497名	1,317名	
達成率	136.1%	119.7%	

■今後の方向性等

多くの皆様に環境を大切にする意識を高めていただき、環境に配慮した生活や行動をしていただくきっかけとなるよう、継続して環境学習等を実施します。

その他の取組 1 環境共生住宅の普及

■取組の概要

環境共生住宅とは、小平の緑豊かな地域特性を活かし、できるだけ電気やガスを利用した機器を使用しないで太陽や自然の風、気温の変化、大地の熱といった自然エネルギーを利用した環境にやさしい住宅のことです。

たとえば、夏は、風の通り道や広葉樹による木陰を利用して暑さをやわらげ、冬は、太陽のエネルギーを集めて蓄熱し、建物の高断熱・高気密により熱損失を防ぎ、暖房効果を高めます。

市の公共施設も含め、このような建物の構造にした上で、さらに太陽光発電や太陽熱温水器、高効率給湯器などの新エネルギー機器を設置し、より環境への負荷の低減を目指します。

■令和元年度の主な取組

具体的な内容	担当課
<p>重点プロジェクト②により、緑のカーテンを市の公共施設に設置する他、市民の皆様へ普及啓発するなど、緑のカーテンによる省エネに取り組みました。</p> <p>また、「緑のカーテンキャンペーン」と称し、市民、事業者、公共施設から緑のカーテン設置時の写真を提供していただき、イベント等で写真展を開催するなど、普及拡大に努めました。</p> <p>重点プロジェクト⑤⑥により、市の公共施設に太陽光発電システムを導入する他、市民・事業者の皆様が太陽光発電システムまたは家庭用燃料電池（エネファーム）を設置する際の費用の一部を助成することで、設置拡大に努めました。</p>	環境政策課

市の推進担当課：環境政策課

その他の取組 2 省エネ診断・省エネ研修会の普及

■取組の概要

東京都では、中小規模事業者を対象にそれぞれの事業者にあった省エネ対策の提案や運用改善の支援及び研修会を実施しています。市では、東京都と連携して、これらの制度を事業者が積極的に活用できるよう、制度のPRや参加事業者の募集、会場の提供などの支援を行います。

■令和元年度の主な取組

具体的な内容	担当課
<p>東京都の中小規模事業者向けパンフレット「省エネルギー診断のススメ」、「地球温暖化対策ビジネス事業者を活用した省エネ対策」を環境政策課窓口や各種イベント時に配布し、制度のPRを行いました。</p>	環境政策課
<p>令和元年7月2日に環境配慮事業者連絡会を開催し、国、都、市の補助金制度の紹介、市の環境に関する取組の周知、各事業所の省エネ対策等の意見交換を行いました。</p>	環境政策課

その他の取組 3 室内の温度設定の徹底

■取組の概要

室温の適切な温度設定（冷房時は 28℃、暖房時は 20℃を目安（※））による省エネ化を図ります。クールビズ・ウォームビズやクールシェア・ウォームシェアによって、快適に過ごすことも大切です。

市の公共施設でも室温の適正化を図っていますが、特に夏季（7月～9月）は目標数値を定めて取り組みます。

※政府は、自らが率先して省エネルギーを進めるために、暖房を使用する場合は室温 19℃を徹底するとしています。市でも、この方針に準じて、暖房時の室温を 19℃としています。

■令和元年度の主な取組

具体的な内容	担当課
令和元年度小平市節電対策基本方針を策定し、市の公共施設における具体的な取組として夏季期間は 28℃、冬季期間は 19℃を目安に室内の温度設定を行うとともに、ホームページ等で市民・事業者の皆様への周知を図りました。	環境政策課
令和元年 7 月から 9 月の 3 か月間、平成 22 年度比 15%以上の使用電力総量の抑制を行うという目標に対し、調査対象 136 施設における実績はマイナス 16.5%となり、目標を達成しました。	環境政策課

その他の取組 4 省エネ診断及び ESCO 事業の導入

■取組の概要

エネルギー消費量が多い施設等において、省エネ診断及び省エネ改修（ESCO 事業）を検討します。

■令和元年度の主な取組

具体的な内容	担当課
平成 30 年度に実施したカーボン・マネジメント強化事業による省エネ診断等の結果から、二酸化炭素排出量の削減効果が最も高いのは、照明の LED 化であることがわかりました。この結果を踏まえ、施設担当課との調整により、ESCO 事業の検討を含め LED 化を推進しています。	環境政策課
市の公共施設 26 施設において、既存照明から LED 照明器具に 251 台更新しました。更新した照明に係る消費電力や二酸化炭素排出量は、更新前に比べて約 71%以上削減されます（一般社団法人日本照明工業会 HP 参照）。 実施施設 学童クラブ 2 か所、たいよう福祉センター、あおぞら福祉センター、公園 11 か所、小学校 4 校、中学校 5 校、学校給食センター、中央図書館	子育て支援課、障がい者支援課、水と緑と公園課、教育総務課、学務課、図書館

その他の取組 5 フィフティ・フィフティ制度の導入

■取組の概要

小・中学校で省エネルギーに関する学習を行い、省エネ行動を実践することにより、光熱水費が前年度よりも削減されることがあります。この削減された光熱水費の一部を学校の省エネ・新エネ機器の設置や緑化の推進などの予算に還元することにより、さらに省エネ意識を高めるしくみづくりを検討します。

■令和元年度の主な取組

具体的な内容		担当課
二酸化炭素排出量の削減効果の高い施設に対し、省エネ関連の修繕などに充てるため、4施設に「エコダイラ予算」を配分しました。		財政課
環境対応型照明器具交換	中央図書館、七小東公園、十三小学童クラブ、十五小学童クラブ	

市の推進担当課：環境政策課

その他の取組 6 市民出資型による太陽光発電システム設置の検討

■取組の概要

集合住宅に入居しているなどの理由で、太陽光発電システムを設置したくても設置できない市民のために、事業所などの建物を利用した太陽光発電システムの設置を検討します。

事業に賛同する市民が、その太陽光発電システムの設置に要する経費に対して出資するという形で太陽光の取組に参加をし、設置された太陽光発電による売電収入を出資者に配当として還元するしくみです。

また、事業者は、事業所の建物などに太陽光発電システムを設置する場所がある場合は、場所を提供します。

■令和元年度の主な取組

具体的な内容			担当課
市内の NPO 法人が主体となり、市民共同発電所の取組を進めています。市民共同発電所の詳細は下表のとおりです。			環境政策課
設置場所	稼働日	発電出力	
小平市学園西町 小川工営ウエストタウンビル	平成 25 年 3 月	12kW	
小平市津田町 小規模多機能サービス施設やまびこ	平成 26 年 12 月	10.3kW	
小平市小川町 障がい者生活介護施設夢風船	平成 27 年 1 月	13.4kW	
東村山市廻田町 千葉企業株式会社リサイクルセンター	平成 27 年 7 月	25.3kW	
小平市仲町 障がい者生活リハビリセンター六三四	平成 28 年 5 月	13.3kW	
小川町 1 丁目 障がい者生活介護施設みどり	平成 31 年 4 月	16.2kW	
花小金井 3 丁目 障がい者グループホームよつば	平成 31 年 4 月	11.0kW	

その他の取組 7 市民参加による森林の整備

■取組の概要

市民参加による植樹、下草刈り、間伐などを行い、樹林を元気にすることにより CO₂ の削減を図ります。また、子どもなど市民の自然観察、環境学習の場として活用します。

■令和元年度の主な取組

具体的な内容	担当課
市全域から生き物の目撃情報を寄せていただく、市民参加型生き物調査「小平の生き物調べ みんなで探そう！」を実施したほか、小平中央公園・玉川上水緑道で自然観察会「夜の生き物ウォッチング」を開催しました。その成果等をリーフレット「こだいら生き物マップ」にまとめ、市内の小・中学校や市民の皆様に配布しました。	環境政策課
市内保存樹林で、NPO 法人やボランティアによる雑木林（上水新町）の保全活動（落ち葉掃き、樹木の間伐、枯れ枝の整理など）を実施しました。	水と緑と公園課

その他の取組 8 保存樹林などの公有地化の検討

■取組の概要

市内にある保存樹林などは民有地にあることから、貴重な緑を残すためには、この保存樹林を公有地化する必要があります。土地所有者の理解と協力を得ながら、市の財政事情を踏まえ、公有地化について検討を進めます。

■令和元年度の主な取組

具体的な内容	担当課
平成 29 年度に小平市土地開発公社にて先行取得した上水新町一丁目特別緑地保全地区内の土地の一部買戻しを行ったほか、新たに上水新町一丁目第二特別緑地保全地区の指定を行いました。	水と緑と公園課

その他の取組 9 公共施設駐車場の有料化による自動車利用抑制の検討

■取組の概要

公共施設を利用する際に駐車場を利用する人とならない人がいます。自動車の使用抑制による CO₂ 削減の観点から、公共施設駐車場の有料化を検討します。

■ 令和元年度の主な取組

具体的な内容	担当課
中央公園駐車場の有料化検討のため、水と緑と公園課において、令和元年 11 月 17 日及び 12 月 3 日に中央公園駐車場の利用状況調査を実施しました。	政策課 水と緑と公園課
平成 20 年から、民間事業者と市民文化会館西側駐車場の土地賃貸借契約をし、有料駐車場としています。 平成 27 年 6 月の契約満了に伴い、土地の借受者公募を行い、継続して有料駐車場としています。	文化スポーツ課

市の推進担当課：環境政策課

その他の取組 10 エコドライブの普及啓発

■ 取組の概要

エコドライブとは、急発進や急加速をしないことや、アイドリングストップの励行などの環境に配慮した運転方法のことです。CO₂ や排気ガスを抑制する環境改善効果があり、また、燃料代の節約効果もあります。市では、エコドライブを普及啓発するとともに、毎年 11 月 1 日から 1 月 31 日までの冬期自動車抑制期間中は特に庁用車の燃費改善に取り組みます。

■ 令和元年度の主な取組

具体的な内容	担当課
令和元年 11 月 1 日から令和 2 年 1 月 31 日の間を「冬期自動車使用抑制キャンペーン」期間として設定し、市報、のぼり旗・ポスターの掲出、庁内アナウンス等により、「週に一度は乗らないデー」および「エコドライブ」を普及啓発しました。	環境政策課
令和元年 9 月 7 日に環境フェスティバルで市民の皆様を対象として、12 月 6 日、9 日に市の職員を対象として、エコドライブシミュレータ体験会を開催しました。	環境政策課
庁用車について、前年度比 5%以上の燃費向上を目標に設定し、エコドライブに取り組みました。調査対象 74 台中 29 台（39.2%）が目標を達成しました。	環境政策課

市の推進担当課：環境政策課・産業振興課・公共交通課

その他の取組 11 エコポイント制度の検討

■ 取組の概要

商店街と連携しながら、公共交通機関の利用や環境家計簿など省エネ行動を実践した市民にポイントを与えるエコポイント制度を導入し、市民の省エネ行動が目に見えるしくみを検討します。

■ 令和元年度の主な取組

具体的な内容	担当課
コミュニティバス・コミュニティタクシーの利用促進のために、回数乗車券、1 日乗車券の購入者に対し、地域参加店舗で利用できる「にしバス・ぶるべー号サックスクーポン」制度を実施しました。 また、利用促進のために「参加店マップ」を作成し、制度の周知を図りました。	公共交通課
環境家計簿内でエコダイラポイントを 200 ポイント獲得した世帯に対して、達成賞と省エネグッズを進呈しました。	環境政策課

その他の取組 12 家電製品などの省エネルギー機器の普及拡大

■取組の概要

家電製品の買い替え時は、省エネルギーラベリング制度などを利用し、省エネ効果の高い商品を購入します。

■令和元年度の主な取組

具体的な内容	担当課
東京都が作成した「家庭のゼロエミッション行動推進事業 東京ゼロエミポイント」や、九都県市首脳会議環境問題対策委員会が作成した「省エネ家電 買替キャンペーン」のチラシを配布し、省エネ家電の選び方などの啓発を行いました。	環境政策課

その他の取組 13 グリーン電力証書制度の活用

■取組の概要

市のイベント時等には、環境にやさしい電力を利用したグリーン電力証書を購入し、参加者への省エネ意識の向上につなげます。

商店街などが開催するイベントなどでも活用を検討します。

■令和元年度の主な取組

具体的な内容	担当課
令和元年 11 月 23 日に開催した環境学習講座「魔法のふろしき講座」、令和 2 年 1 月 19 日に開催した市民版環境配慮指針啓発支援講座「ソーラーパネル・蓄電池の賢い選び方」において、それぞれ 100kWh のグリーン電力証書を購入し、参加者への省エネ意識の向上につなげました。	環境政策課

その他の取組 14 ホームページや省エネカレンダー等による情報の発信

■取組の概要

ホームページや省エネカレンダー等により、省エネ情報などを発信します。

■令和元年度の主な取組

具体的な内容	担当課
6 月の環境月間に合わせて、市報 6 月 5 日号で省エネ行動の実践を呼びかけました。また、環境家計簿内で、年間を通して省エネ情報や環境学習・イベントの案内を行いました。	環境政策課

その他の取組 15 環境配慮事業者連絡会の充実

■ 取組の概要

環境に配慮する活動に積極的に取り組んでいる事業者の相互情報交換の場である連絡会への参加者を増やすなどさらに充実を図ります。

■ 令和元年度の主な取組

具体的な内容	担当課
令和元年 7 月 2 日に環境配慮事業者連絡会を開催し、国、都、市の補助金制度の紹介、市の環境に関する取組の周知、各事業所の省エネ対策等の意見交換を行いました。	環境政策課
環境省の実施する節電関連の事業所向けポスター・リーフレットを送付し、また、環境に関する各種イベントや講演の情報提供を行いました。	環境政策課

その他の取組 16 大学との連携による普及啓発

■ 取組の概要

市には大学が多いことから、大学や学生と連携した環境マインドを育む取組を実践します。

■ 令和元年度の主な取組

具体的な内容	担当課
令和元年 9 月 7 日に開催した「下水道の日イベント」で、東京学芸大学の学生による環境ワークショップを開催しました。	下水道課
令和元年 10 月 2 日にリサイクルセンターで、小平第六小学校の児童を対象に、工学院大学と連携し、省エネ・創エネに関する出前授業を実施しました。	環境政策課

小平市地域エネルギービジョン中間見直し
進捗状況報告（令和元年度実績）

令和2（2020）年9月 発行

編集・発行	小平市環境部環境政策課
住 所	〒187-8701 東京都小平市小川町二丁目1333番地
電話番号	042-346-9818
F A X	042-346-9643
電子メール	kankyoseisaku@city.kodaira.lg.jp
価 格	¥100